

企業

鶴屋百貨店様

始まりはささやかな試み いまは節水PRへ広がり

鶴屋百貨店が最初に取り組んだ節水は、トイレの水使用量の削減と従業員用食堂での水の使用方法の改善でした。

まず、平成11年、テストケースとして、従業員用女子トイレに擬音装置を設置、従業員食堂では蛇口のコマめな開け閉めを呼びかけました。その結果、水使用量はトイレで2割程度削減、従業員食堂では半減したそうです。「この従業員エリアでの節水は、だれでもできるささやかな試みでしたが、節水効果は高く、確かな手応えを感じました。そして、お客様用のエリアにも拡大することにしたのです。14年の東館グランドオープン、18年の改修時にトイレの擬音装置をお客様用トイレにも導入したほか、飲食店にはコマめな蛇口の開け閉めを呼び掛けました」と同百貨店。

現在、多くの人が集う「百貨店ならではの節水活動」も進められています。「各トイレの洗面台の前に節水ステッカーをはり、使うときに

目に留まるようにしました。毎年6月の環境月間時には店内放送で節水を呼び掛け、7月の熊本市の節水社会実験では店舗の壁面に懸垂幕を掲げてPRに協力しています」。ささやかなことから始まった同百貨店の節水は、より多くの人に向けた節水PRへと広がっています。



トイレの洗面台前には、使用時に目に留まるよう節水ステッカー



節水効果の高い擬音装置付き便器を設置

鶴屋百貨店の主な取り組み

- 節水効果の高い擬音装置付き便器を女子トイレに設置。改修時に増設し、今後も続ける予定
- 節水ステッカーを各トイレにはり、意識啓発
- トイレの手洗いの蛇口の元栓を絞って適量に調節
- 毎年6月の環境月間時に店内放送で節水を呼び掛け
- 熊本市の節水社会実験期間中(7月)は、店舗壁面の懸垂幕の掲示、ポスターやうちわなどのPRグッズの店内設置、さらに館内放送で節水を呼び掛けることなどで協力



店舗壁面に掲げられた熊本市の節水社会実験月間の懸垂幕

個人

飲食店「喜楽里や」経営 三宅 洋様

トイレに節水おもりと擬音装置、蛇口に節水コマを取り付け、食器洗い乾燥機を導入したら…60%削減に成功!!

蛇口をひねっても水が出ない…あなたは、そんな経験をしたことがありますか？

私は、水の大切さを皆さんに知って欲しいと思います。今、私は熊本市内で「天草直送地魚の店 喜楽里や」を経営していますが、以前、福岡県のすし屋に修行に行った時のことです。「午後6時から水が少ししか出なくなり、午後8時になると水がまったく出ない」。そんな中で、すし屋を営業していかななくてはなりません。一番の稼ぎ時に水が出ないのは、水商売として最悪でした。

ペットボトルに水をくんでトイレに置き、お客様にトイレ使用後、水を流してもらうようにしていましたが、お酒を飲んだお客様全員が流されるわけではなく、悪臭を放つこともしばしばありました。

手を洗うにしても、ひしゃくですくって洗っ

たり…。

ためておいいた水が無くなった時には、洗いものも翌朝にしたり…。

「料理ができない」「手が洗えない」「洗いものができない」「トイレが流せない」。

そうやって商売するのはたまりませんよ！あっても当然のものがありません。高価なものでも、あればどうにかありますが、まったく無い状態ではどうしようもない。

今のお店料理は、熊本のおいしい水でできています。だから、自分でできる節水に努め、いつまでも皆さんにおいしい料理を提供していきたいと思います。

自分たちでできる小さなこと「節水」。水をきれいに大切に作る気持ちでお客様と一緒に取り組んでいます。



自らの断水経験から水の大切さを話していただいた三宅さん



トイレには擬音装置も設置



食器洗い乾燥機や節水おもりは節水効果バツグン。ステッカーでお客様へもアピール

会員の節水活動レポート

いよいよ今年も7月の1カ月間、節水社会実験を実施します。今回も会員の皆さんの中から団体・企業・個人の節水の取り組みを紹介します。

※わくわく節水倶楽部の入会状況【平成19年6月7日現在】
延べ構成人数 131,989人 [126団体、276事業所、111行政機関、847個人(世帯)]

「わが家・わが社では、このような節水に取り組んでいます」という情報を郵送、FAX、電子メールで、ぜひ事務局までお知らせください。会報誌やホームページで紹介していきます。



節水器具普及協力店

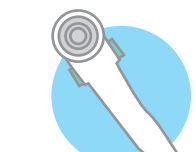
【平成19年4月1日現在】

現在、節水器具の普及に協力をいただいている「節水器具普及協力店」は、市内に21店舗あります。

主な節水器具



節水おもり(トイレ用)



節水シャワーヘッド



バスポンプ



手元制御弁

この他にもたくさんの節水器具がありますので、お近くの「節水器具普及協力店」でお求めください。

節水社会実験以降は、期間を問わず節水器具の売り上げが伸びている協力店もあります。夏場は、シャワーを多く利用するため、「節水シャワーヘッド」が、逆に冬場はお風呂の湯船の利用が多くなるためか「バスポンプ」が売れているようです。特に最近では、ガーデニングブームの影響か「雨水貯留タンク*」についての問い合わせが年間を通して多くなっています。★市の補助制度があります。

また、近頃は、節水器具を既に利用されている方からの口コミで来店されるお客様も多くなっているようです。さらに、店内放送を利用して、地下水の減少や節水器具の効果について呼びかけをしていただいている協力店もあります。

園舎の建て替えを機に節水「もったいない」は家庭にも

園舎の建て替えを機に、施設の随所に節水の工夫を凝らしたのは熊本市佐土原の「エンゼル保育園」。トイレと給食室以外は節水コマを設置、水量も蛇口下の元栓を締めて調節しています。また、米のとぎ汁は野菜園やしいたけのほだ木に散布、カルキ入りのプールの水もコンクリートへの打ち水に再利用。節水に取り組んだ18年度の水使用量は前年比で最大48.3%も減った月があったとい

います。同園の杉本尚子保育士は、節水をとくに進めている一人。園児たちが使う蛇口をレバー式に取り替え、自分でコマめに蛇口を開け閉めできるようにしたり、園庭の散水などで使うホースにも手元制御弁を取り付け、無駄な水は使わないことを徹底させました。そして、手洗いの水は出しっぱなしにしない、歯磨きにはコップを使うなど、折に触れ、子どもたちに節水を呼び掛けたのです。「最初は『すぎもとせんせいにおこらうっけーん』なんて言

いながら、しづしづやっていた子どもたちでしたが、今では、水の出しっぱなしを見つけると子どもたち同士で「もったいないー」と教え合う、立派な「ちびっ子節水隊」に！家庭でも厳しくチェックしているようですよ」と杉本先生はにっこり。姉妹園の「第二エンゼル保育園」(同市榎町)にも節水活動は広がり、「ちびっ子節水隊」は確実に数を増やしています。



米のとぎ汁は野菜園の水やりや、しいたけのほだ木用の水に再利用

エンゼル保育園・第二エンゼル保育園の主な取り組み

- トイレと給食室以外は節水コマを設置
- 蛇口下の元栓を締めて水量調整
- 園児用蛇口はレバー式に取り替え、ホースには手元制御弁を取り付けた
- 米のとぎ汁は野菜園の水やりや、しいたけのほだ木用の水に再利用
- プールの水もカルキ入りはコンクリートの打ち水に、カルキなしは新たに配水管を設置し、園庭の散水に
- スタッフや園児へ日ごろから節水の呼び掛け



プールの水は園庭や菜園の水やり、打ち水などに一と大活躍

みなさん、節水器具を上手に利用して、楽しく簡単に節水をしましょう。

